

令和8年度
琉球大学大学院理工学研究科（博士前期課程）
（理学系）
学生募集要項

○推薦入学特別選抜

数理科学専攻、海洋自然科学専攻化学系

出願期間	令和7年6月 9日（月）～6月13日（金）
試 験	令和7年7月 2日（水）
合格者発表	令和7年7月25日（金）

○第1期募集

一般選抜、社会人特別選抜、社会人特別選抜（現職高校教員）、外国人留学生特別選抜

出願期間	令和7年7月28日（月）～8月 1日（金）
試 験	令和7年8月27日（水）～8月28日（木）
合格者発表	令和7年9月19日（金）

○第2期募集

一般選抜、社会人特別選抜、社会人特別選抜（現職高校教員）

出願期間	令和8年1月26日（月）～1月30日（金）
試 験	令和8年3月 2日（月）
合格者発表	令和8年3月16日（月）

令和7年5月

琉球大学大学院 理工学研究科

目次

1. 研究科概要	1
2. 募集人員・出願期間・試験の日時及び場所	2
3. 出願資格	4
4. 出願資格審査	6
5. 出願手続	7
6. 研究指導に関する事前相談	12
7. 選抜方法（入試科目）	12
8. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）	17
9. 合格者発表	18
10. 入学手続等	18
11. 安全保障輸出管理	18
12. 修学のための諸制度	18
13. 個人情報の取扱い	19
14. 追加募集	20
15. 問い合わせ先	20
16. 入試統計（志願者数、合格者数等）の公開	20
17. 過去問の開示	20
18. 添付資料	21

1. 研究科概要

(1) 琉球大学大学院理工学研究科博士前期課程各専攻の人材の養成及び教育・研究上の目的

専攻	人材の養成及び教育・研究上の目的
数理科学専攻	数理科学領域の教育・研究を通して、現代社会に貢献できる高度な専門知識及び能力を持つ人材の養成を目的とします。
物質地球科学専攻	物理学・地球科学及び関連領域の教育・研究を通して、学問の深化と科学技術の発展に寄与し、広い視野と高度な専門知識を持った人材の養成を目的とします。
海洋自然科学専攻	琉球列島の豊かな自然環境が持つ特色を最大限に生かし、化学・生物学及び関連領域の教育・研究を通して、基礎から応用に至る高度な専門的能力と広い視野を兼ね備え、地域及び国際社会に貢献できる人材の養成を目的とします。

(2) 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

以下の URL より確認することができます。

https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/3policy/gra_admission-policy/



(3) 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

以下の URL より確認することができます。

https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/3policy/gra_curriculumpolicy/



(4) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

以下の URL より確認することができます。

https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/3policy/gra_diplomapolicy/



2. 募集人員・出願期間・試験の日時及び場所

試験区分						推薦入学特別選抜	第1期募集(注1)								第2期募集																				
							一般選抜		社会人特別選抜		社会人特別選抜 (現職高校教員)		外国人留学生特別選抜		一般選抜		社会人特別選抜		社会人特別選抜 (現職高校教員)																
出願期間						令和7年6月9日(月) ～6月13日(金)		令和7年7月28日(月)～8月1日(金)								令和8年1月26日(月)～1月30日(金)																			
専攻等	講座名	入学定員	募集人員			試験日時・ 場所	試験 内容	試験日時 (注2)	試験 内容	試験日時 (注2)	試験 内容	試験日時 (注2)	試験 内容	試験日時 (注2)	試験 内容	試験日時 (注3)	試験 内容	試験日時 (注3)	試験 内容	試験日時 (注3)	試験 内容														
			推薦	1期	2期																														
数理学専攻	基礎数理学	10	5	3	2	令和7年 7月2日(水) 10:00～ 理学部本館 A407	面接	令和7年 8月27日(水) 9:00～	口頭試問	令和7年 8月27日(水) 9:00～	面接	令和7年 8月27日(水) 9:00～	面接	令和7年 8月27日(水) ①9:00～10:00 ②13:00～	①語学試験 (日本語) ②口述試験	令和8年 3月2日(月) 9:00～	口頭試問	令和8年 3月2日(月) 9:00～	面接	令和8年 3月2日(月) 9:00～	面接														
	数理解析学																																		
	情報数理学																																		
物質地球科学専攻	物質系 物質基礎学	16	—	14	2	実施しない		①令和7年 8月27日(水) 9:00～12:00 ②令和7年 8月28日(木) (注4)	①専門科目 物理学 ②面接	令和7年 8月28日(木) 10:00～	面接	令和7年 8月28日(木) 10:00～	面接	令和7年 8月28日(木) ①9:00～10:00 ②13:30～	①語学試験 (日本語) ②口述試験	令和8年 3月2日(月) 9:00～	口頭試問	令和8年 3月2日(月) 9:00～	面接	令和8年 3月2日(月) 9:00～	面接														
																						物質情報学													
	地球環境系 海洋地圏科学																					令和7年 8月28日(木) 9:50～	①面接 ②語学試験 (英語) (注6)	令和7年 8月28日(木) 10:00～	面接	令和7年 8月28日(木) 10:00～	面接	令和7年 8月28日(木) ①9:00～10:00 ②13:30～	①語学試験 (日本語) ②口述試験	令和8年 3月2日(月) 9:50～	①面接 ②語学試験 (英語) (注6)	令和8年 3月2日(月) 9:00～	面接	令和8年 3月2日(月) 9:00～	面接
海洋自然科学専攻	化学系 分子機能化学	26	5	1	1	令和7年 7月2日(水) 10:00～ 理系複合棟 411	面接	令和7年 8月27日(水) 9:00～	面接	令和7年 8月27日(水) 9:00～	面接	令和7年 8月27日(水) 9:00～	面接	令和7年 8月28日(木) ①10:00～11:00 ②13:30～	①語学試験 (日本語) ②口述試験	令和8年 3月2日(月) 9:00～	面接	令和8年 3月2日(月) 9:00～	面接	令和8年 3月2日(月) 9:00～	面接														
																						解析化学													
																						海洋化学													
	生物系 進化・生態学	26	—	20	—	実施しない		①令和7年 8月27日(水) 13:00～16:00 ②令和7年 8月28日(木) (注5)	①専門科目 生物学 ②面接 ③語学試験 (英語) (注6)	令和7年 8月28日(木) 10:00～	面接	令和7年 8月27日(水) 13:00～16:00 ②令和7年 8月28日(木) (注5)	①専門科目 生物学 ②面接	令和7年 8月27日(水) 13:00～14:00 ②令和7年 8月28日(木) 13:30～	①語学試験 (日本語) ②口述試験 面接	実施しない																			
																						熱帯生命機能学													
																						海洋生物生産学													
																						熱帯生物学													

(注1) 第1期募集で台風接近等により試験が実施できない場合は、予備日に試験を行います。

予備日：令和7年9月3日（水）～9月4日（木）

予備日で試験を実施する場合の日時等の詳細については別途案内します。

(注2) 集合場所は、令和7年8月26日（火）12:00までに理学部本館玄関前に掲示するとともに、理学部公式ホームページに掲載します。

(注3) 集合場所は、令和8年2月27日（金）12:00までに理学部本館玄関前に掲示するとともに、理学部公式ホームページに掲載します。

(注4) 集合時間・場所は、令和7年8月26日（火）12:00までに理学部本館玄関前に掲示するとともに、理学部公式ホームページに掲載します。

(注5) 集合時間・場所は、前日の筆記試験会場で周知します。

(注6) 語学試験（英語）は、外部試験の結果にて判定します。

留意事項

ア．試験開始の20分前までに集合してください。

イ．試験開始後30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。

募集人員について

- ・推薦入学特別選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員分を一般選抜第1期の募集人員に加えます。
- ・一般選抜第1期の合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員分を一般選抜第2期の募集人員に加えます。

3. 出願資格

『推薦入学特別選抜』

次の各号のすべてに該当する者とします。

- (1) 令和8年3月までに大学を卒業見込みの者、又は高等専門学校¹の修業年限2年の専攻科に在籍し、令和8年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (2) 学業成績及び人物ともに優れ、在籍している大学・学部の学科長に相当する教員あるいは指導教員、又は高等専門学校¹校長あるいはその専攻科の長から推薦された者
- (3) 合格した場合に入学を確約できる者

※推薦入学特別選抜に合格しなかった者は、一般選抜に出願することができます。

『一般選抜』

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者又は令和8年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は令和8年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和8年3月31日までに修了する見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和8年3月31日までに修了する見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けら

れた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和8年3月31日までに修了する見込みの者

- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和8年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和8年3月31日までに修了する見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 令和8年3月31日時点で大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者又は令和8年3月31日までに22歳に達する者

※（9）の出願資格により入学した場合、当人の学部学生としての学籍上は「退学」となります。したがって、大学の学部を卒業していることを要件として定められている種々の国家試験等の資格試験は受験できなくなりますので注意してください。

※（9）の出願者は、次の条件を両方とも満たす必要があります。

・在学期間について

令和8年3月末において、大学在学期間が3年間に達している者（休学期間は、在学期間を含めない）、又は外国において15年の課程を修了している者。

・学業成績について

出願時点において、修得する必要がある科目の全てを修得し、かつ専攻ごとに定める条件（別表参照）を満たす者。

なお、入学試験に合格した後、令和8年3月末までに、次の①、②、③をすべて満たさないと入学を許可しません。

①3年次までに修得する必要がある必修科目の全てを修得すること。

②修得した選択科目を含め卒業要件単位数の90%以上の単位を修得すること。

③修得単位中の点数評価80以上に相当する単位の割合が別表に定める割合に達すること。

（別表）

専攻	修得単位中の点数評価80以上に相当する単位の割合	
	出願時	令和8年3月末
数理科学専攻	95%以上	95%
物質地球科学専攻	95%以上	95%
海洋自然科学専攻	95%以上	95%

『社会人特別選抜』

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 入学予定年月までに、一般選抜の出願資格(1)～(8)のいずれかの資格を取得後3年以上の社会的経験を持ち、入学後も在職(企業等)している者
- (2) 一般選抜の出願資格(11)に該当する者で、入学予定年月までに3年以上の社会的経験を持ち、入学後も在職(企業等)している者

『社会人特別選抜(現職高校教員)』

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 入学予定年月までに、一般選抜の出願資格(1)～(8)のいずれかの資格を取得後沖縄県内で3年以上の教員経験(臨時任用期間を含む)を有する、原則として45歳以下の者で入学後も在職している者
また、学業に十分な時間を確保できる者
- (2) 一般選抜の出願資格(11)に該当する者で、入学予定年月までに沖縄県内で3年以上の教員経験(臨時任用期間を含む)を有する、原則として45歳以下の者で、入学後も在職している者
また、学業に十分な時間を確保できる者

『外国人留学生特別選抜』

次の各号のすべてに該当する者とします。

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者、又はこれと同等以上の学力があると本研究科が認めた者
※「これと同等以上の学力があると認めた者」とは、本研究科において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び令和8年3月31日までに22歳に達する者を指す
- (3) 修学に必要な日本語の学力を有している者
- (4) 「出入国管理及び難民認定法」における「留学」の在留資格を有する者

4. 出願資格審査

一般選抜の出願資格(9)、(10)、(11)及び外国人留学生特別選抜の出願資格(2)に該当する者については、出願資格の事前審査を受ける必要があります。

- (1) 書類提出期間

事項	第1期募集	第2期募集
書類提出期間	令和7年7月15日(火) ～7月16日(水)	令和7年12月9日(火) ～12月10日(水)
提出先	理学部学務係(理学部本館C217)	
結果通知	令和7年7月25日(金)	令和7年12月26日(金)

(2) 提出書類

一般選抜の出願資格 (9)、(10) に該当する者

- 1 事前審査申請書
- 2 成績証明書 (最新のもの)
- 3 在学証明書
- 4 履修手引き (授業内容一覧および卒業要件が記載されたもの)

※参考資料として、研究業績を説明する資料や特許・実用新案取得書類、技能検定認定証明書等を添付しても構いません。

一般選抜の出願資格 (11) 及び外国人留学生特別選抜の出願資格 (2) に該当する者

- 1 事前審査申請書
- 2 最終出身学校卒業・修了証明書
- 3 最終出身学校成績証明書
- 4 研究・教育歴証明書(研究・教育内容要旨を含む)

なお、参考資料として、研究業績を説明する資料や特許・実用新案取得書類、技能検定認定証明書等を添付しても構いません。

※「外国において15年の課程を修了した者で、日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間(概ね1年以上)研究に従事しており、令和8年3月31日までに22歳に達するもの」を含む。

5. 出願手続

(1) 出願書類

書類等名称	摘要	対象
入学志願書	所定の用紙に必要事項を記入すること	全員
受験票	所定の用紙に必要事項を記入すること	全員
卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学長(学部長)が作成したもの	全員
成績証明書	出身大学長(学部長)が作成したもの 外国人留学生特別選抜出願者は日本語訳を添付すること	全員
推薦書	本学所定の用紙を推薦者が作成し厳封したもの	推薦入学特別選抜のみ
学位を取得していることを証明する書類	出身大学長(学部長)等が作成したもの	3. 出願資格『一般選抜』(8)の該当者のみ
外国語(英語)試験スコア票	TOEFL-iBT®、TOEIC® Listening & Reading Test、GTEC Academic(2技能)のいずれかのスコア票の原本を提出すること PDF版は不可とする 提出するスコア票は出願期間開始日から遡って2年以内に受験したものに限る	物質地球科学専攻(地球環境系)の一般選抜出願者のみ

外国語（英語） 試験スコア票	TOEFL-iBT®のスコアレポート「Test Date スコア（テスト日のスコア）の Test Taker Score Report（受験者用控えスコ アレポート）」の原本を提出すること PDF 版は不可とする 提出するスコアレポートは出願期間開始 日から遡って2年以内に受験したものに 限る	海洋自然科学専攻（生物系）の 一般選抜・社会人特別選抜（現 職高校教員）出願者のみ
入学後の研究 計画	入学後の希望研究課題と研究推進方法等 について志願理由も含めてA4用紙1枚 に記載したもの 用紙の頭部に氏名（ふりがな）、生年月日を 明記すること	推薦入学特別選抜出願者のみ
レポート	卒業研究の内容又はこれに相当する学習 内容等をA4版レポート用紙5枚程度にま とめたもの	数理科学専攻の一般選抜出願 者のみ
卒業研究概要	卒業研究の内容又はこれに相当する学習 内容等をA4用紙1枚程度にまとめたもの 用紙の頭部に氏名（ふりがな）、生年月日を 明記すること	数理科学専攻・海洋自然科学 専攻の推薦入学特別選抜出願 者のみ
写真2枚	出願前3カ月以内に撮影した上半身脱帽の 正面向き（縦5cm×横4cmに収まる任意の サイズ）とし、受験票と入学志願書に貼付 すること	全員
受験承諾書	勤務先の長の受験承諾書を必要とするの で、本学所定の用紙を用いること	社会人特別選抜、社会人特別 選抜（現職高校教員）出願者の み
返信用封筒	長3封筒（縦23cm×横12cm）に410円分 の切手を貼付し志願者の郵便番号、住所、 氏名を明記のうえ提出すること	受験票郵送希望者のみ
志願者整理票	本学所定の志願者整理票に記入のうえ提 出すること	全員
検定料納入証明 書（大学用）又は 振込を証明でき る明細書	災害等による入学検定料の特例措置の対 象者は、検定料を振り込まず申請手続きを 行ってください	全員
研究計画概要	所定の用紙に必要事項を記入	社会人特別選抜、社会人特別 選抜（現職高校教員）出願者の み

研究業績報告書	卒業論文、研究報告書、学術論文の業績を有する者は、その概要を本学所定の用紙にまとめて提出すること	社会人特別選抜、社会人特別選抜（現職高校教員）出願者のみ
所属長の推薦書	任意の書式で提出すること	社会人特別選抜（現職高校教員）で海洋自然科学専攻（生物系）出願者のみ
在留資格を証明するもの	日本国内に居住している者は、住民票の写し等を提出すること 日本国内に居住していない者は、パスポート等の写しを提出すること	外国人留学生特別選抜出願者のみ
日本語力調査書	本学所定の用紙を用いて、公的機関の作成したもの（国費外国人留学生は不要）	外国人留学生特別選抜出願者のみ

※本学所定の様式は、琉球大学理学部ホームページ (<https://www.sci.u-ryukyu.ac.jp/index.php>) からダウンロードしたものを使用することも可能です。

この場合、印刷は必ずA4サイズとし、入学志願書（履歴書）・研究計画概要・研究業績報告書については、両面印刷で出力してください。

(2) 受験にあたっての留意事項

- ・入学志願書で届け出た連絡受信場所、あるいは志願者整理票で届け出た合格通知書、入学手続書類の送付先が変更になった場合は、速やかに理学部学務係に連絡してください。
- ・出願者は、出願前に志望研究室の担当教員と連絡を取ってください。
- ・第二志望研究室に行く意志がない場合は第二志望への記入は不要です。
- ・第二志望がある場合は、第二志望研究室の希望指導教員にも事前に連絡をとってください。
- ・海洋自然科学専攻では、化学系と生物系にまたがって志願することはできません。

(3) 出願方法

- ・出願書類を「書留速達」で封筒に「大学院入学志願者書」と朱書きのうえ、所定の期間内に提出先に郵送してください。
- ・受付期間内に書類が到着しない場合は出願を受理しないため、郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。
- ・直接持参する場合の受付時間は、9:00～17:15（12:00～13:00を除く）までとします。ただし、土曜、日曜及び祝日は、受付をしません。
- ・受理された書類は、いかなる理由があっても返還しません。また、出願後は、いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。
- ・書類の偽造や内容の改ざん、記載と相違する事実が判明した場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

(4) 提出先

琉球大学理学部 学務係

所在地 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 理学部本館C217

Tel 098 - 895 - 8595 FAX 098 - 895 - 8587

(5) 検定料振込

①検定料 30,000 円

②振込期間

試験区分	振込期間
推薦入学特別選抜	令和7年6月6日(金)～ 6月13日(金)
第1期募集 〔一般選抜、社会人特別選抜、社会人特別選抜(現職高校教員)、外国人留学生特別選抜)〕	令和7年7月25日(金)～ 8月1日(金)
第2期募集 〔一般選抜、社会人特別選抜、社会人特別選抜(現職高校教員)〕	令和8年1月23日(金)～ 1月30日(金)

③振込方法(銀行振込・インターネットバンキング・ATM)

振込は、ア. 銀行窓口、イ. ATM 又はインターネットバンキングを利用することができます。なお、振込の際には金額の誤りに十分ご注意ください。

また、振込手数料については、志願者本人負担となります。

ア. 銀行窓口

- ・検定料振込書に必要な事項を記入のうえ、検定料振込書に記載の「記入上の注意」をよく読み、最寄りの金融機関から振り込んでください。
- ・氏名を記入した「検定料納入証明書(大学提出用)*1」の原本を出願書類に同封して提出してください。

*1「検定料納入証明書(大学提出用)」…検定料振込書の左端。取扱金融機関収納印が押印されていること。

イ. ATM 又はインターネットバンキング

※ATM利用の場合はキャッシュカードを利用し振り込んでください。

- ・振込名義を必ず志願者本人にして、氏名の前に募集区分(理工学研究科(理学系)博士前期課程は431)を入力してください。

例)

4	3	1	タ	ゝ	イ	カ	ゝ	ク	タ	ロ	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- ・氏名を記入した「検定料納入証明書(大学提出用)*1」の原本及び「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し*2」を出願書類に同封して提出してください。

*1「検定料納入証明書(大学提出用)」…検定料振込書の左端。取扱金融機関収納印は必要ありません。

*2「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」の裏面に募集区分(理工学研究科(理学系)博士前期課程は431)・氏名を記入してください。

～海外からの支払いを希望する方へ How to Pay Student Fees from Overseas～

本学においては、海外からの学納金収納サービス(Convera GlobalPay)を導入しております。海外からの支払いを希望する方は、下記サイトにアクセスし、必要事項を入力の上、検定料の支払いを行ってください。

Convera GlobalPay for Students : <https://students.convera.com/ryukyuc.jp>

二次元コード



なお、当該サービスを利用する場合は、送金に時間を要することがありますので、納入期日に余裕をもって送金してください。

詳しくは、大学ホームページ内「How to Pay Student Fees from Overseas」をご覧ください。
For more details, please see "How to Pay Student Fees from Overseas" on the university website.

二次元コード

琉球大学ホームページ（授業料等）：<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/fee/>



留意事項

ア. 検定料が振り込まれていない場合、「検定料納入証明書（大学用）」が出願書類に同封されていない場合、ア. 銀行窓口利用で「検定料納入証明書（大学用）」に取扱金融機関収納印がない場合、及びイ. ATM 又はインターネットバンキング利用で「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」が出願書類に同封されていない場合は、出願書類を受理しません。

イ. 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 検定料を振り込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかったりした場合）。
- ② 誤って検定料を二重に振り込んだ場合。
- ③ 特例措置対象者が検定料を振り込んだ場合。

※返還手続きは WEB 上での登録となります。以下の二次元コード、URL から申請を行ってください。返還には請求情報登録後、1 ヶ月程度かかります。

二次元コード



検定料払戻：請求受付 URL：<https://forms.office.com/r/5WGkRXi4Qc>

申請期限：令和 8 年 3 月 31 日（火）

問い合わせ先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 Tel 098-895-8058

※上記③に該当する場合は（6）④の手続きを行ってください。

（6）災害等による入学検定料の特例措置

琉球大学では、令和 8 年度の大学院入学者選抜に関して、文部科学省より配慮依頼がある災害の被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特別措置を実施します。

①措置内容

検定料の免除：30,000 円

②免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類（写し）
1) 災害救助法が適用されている地域のうち文部科学省から配慮依頼がある災害で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	ア又はイの書類
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	罹災（りさい）証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
2) 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

●文部科学省から配慮依頼がある災害等

- ・東日本大震災関連情報：文部科学省 HP
(https://www.mext.go.jp/a_menu/saigai_johou/)
- ・熊本県熊本地方を震源とする地震について：
文部科学省 HP (https://www.mext.go.jp/a_menu/kumamotojisin/index.htm)
- ・その他の災害：文部科学省 HP
(https://www.mext.go.jp/a_menu/sonotajisin/index.htm)

③申請の方法 申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。

本学所定の様式（検定料免除申請書）に、罹災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のう
え提出してください。

④検定料を誤って納入した場合

本特例措置に該当するにも関わらず、誤って納入した検定料の返還を希望する場合は、WEB 上
での登録に加え、本学所定の様式「免除申請書」及び「罹災証明書（写し）等」を下記送付先へ
提出してください。申請後、検定料を返還します。

※返還手続きはWEB 上での登録となります。以下の二次元コード、URL から申請を行ってくださ
い。返還には請求情報登録後、1ヶ月程度かかります。

検定料払戻：請求受付 URL：<https://forms.office.com/r/5WGkRXi4Qc>

二次元コード



申請期限：令和8年3月31日（火）

問い合わせ先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 Tel 098-895-8058

6. 研究指導に関する事前相談

- ・出願に際しては、必ず事前に希望する専攻の予定指導教員に連絡を取り、研究内容等について相談の
うえ出願書類を提出してください。
- ・一般選抜に出願予定の者で現在有職であるか、もしくは入学後有職となることが予定されている者は、
研究内容等について相談する際、修学条件等について十分に確認を行ってください。

7. 選抜方法（入試科目）

（1）推薦入学特別選抜

【試験内容】

専攻	試験内容
数理科学専攻	・面接（志望動機、今まで勉強したこと、入学後に行いたい研究、大学院修了後の進路）
海洋自然科学専攻 （化学系）	・面接（専門科目、卒業研究、入学後の研究計画、志望動機などに関する質疑応答）

【配点】

専攻	書類審査	面接	合計
数理科学専攻	50	50	100
海洋自然科学専攻 (化学系)	400	100	500

(2) 第1期募集

『一般選抜』

【試験内容】

専攻	試験内容
数理科学専攻	・出願時に提出したレポートに基づいた口頭試問（ただし、レポート内容についての黒板を用いた20分程度のプレゼンテーションを含む）を行う
物質地球科学専攻 (物理系)	・物理学（力学、電磁気学、量子力学、熱・統計力学） ・面接
物質地球科学専攻 (地球環境系)	・英語（TOEFL-iBT®、TOEIC® Listening & Reading Test、GTEC Academic（2技能）のいずれかのスコア） ・面接（専門科目、英語、卒業研究、入学後の研究計画、志望動機などに関する質疑応答）
海洋自然科学専攻 (化学系)	・面接（専門科目、英語、卒業研究、入学後の研究計画、志望動機などに関する質疑応答）
海洋自然科学専攻 (生物系)	・生物学（生態学、分類・形態学、細胞・遺伝学、生理生化学、水産生物学、サンゴ礁学、進化学、微生物学） ・英語（TOEFL-iBT®のスコア） ・面接

【配点】

専攻	専門科目	外国語	面接等	出身大学の成績証明書	合計
数理科学専攻	—	—	口頭試問	50	100
			50		
物質地球科学専攻 (物理系)	物理学	—	面接	合・否	400
	400		合・否		
物質地球科学専攻 (地球環境系)	—	英語	面接	合・否	200
		200	合・否		
海洋自然科学専攻 (化学系)	—	—	面接	合・否	750
			750		
海洋自然科学専攻 (生物系)	生物学	英語	面接	合・否	400
	200	200	合・否		

『社会人特別選抜』

【試験内容】

専攻	試験内容
数理科学専攻	・面接
物質地球科学専攻 (物理系)	
物質地球科学専攻 (地球環境系)	
海洋自然科学専攻 (化学系)	
海洋自然科学専攻 (生物系)	

【配点】

専攻	書類審査	面接	合計
数理科学専攻	50	50	100

※物質地球科学専攻（物理系・地球環境系）及び海洋自然科学専攻（化学系・生物系）は、試験の内容を総合的に判定し可否を決定する。

『社会人特別選抜（現職高校教員）』

【試験内容】

専攻	試験内容
数理科学専攻	・面接
物質地球科学専攻 (物理系)	
物質地球科学専攻 (地球環境系)	
海洋自然科学専攻 (化学系)	
海洋自然科学専攻 (生物系)	・生物学（生態学、分類・形態学、細胞・遺伝学、生理生化学、水産生物学、サンゴ礁学、進化学、微生物学） ・面接

【配点】

専攻	書類審査	面接	合計
数理科学専攻	50	50	100

※物質地球科学専攻（物理系・地球環境系）及び海洋自然科学専攻（化学系・生物系）は、試験の内容を総合的に判定し可否を決定する。

『外国人留学生特別選抜』

【試験内容】

専攻	試験内容
数理科学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語学試験（日本語） ・ 口述試験 ・ 面接
物質地球科学専攻 （物理系）	
物質地球科学専攻 （地球環境系）	
海洋自然科学専攻 （化学系）	
海洋自然科学専攻 （生物系）	

【配点】

専攻	書類審査	語学試験 〔日本語〕	口述試験	面接	合計
数理科学専攻	25	25	25	25	100
海洋自然科学専攻 （化学系）	300	100	100	—	500
海洋自然科学専攻 （生物系）	合・否	200	200	合・否	400

※物質地球科学専攻（物理系・地球環境系）は、試験の内容を総合的に判定し合否を決定する。

(3) 第2期募集

『一般選抜』

【試験内容】

専攻	試験内容
数理科学専攻	・ 出願時に提出したレポートに基づいた口頭試問（ただし、レポート内容についての黒板を用いた20分程度のプレゼンテーションを含む）を行う
物質地球科学専攻 （物理系）	・ 口頭試問（卒業研究に関連した研究の取り組み、プレゼンテーション能力等を評価）
物質地球科学専攻 （地球環境系）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語（TOEFL-iBT®、TOEIC® Listening & Reading Test、GTEC Academic（2技能）のいずれかのスコア） ・ 面接（専門科目、英語、卒業研究、入学後の研究計画、志望動機などに関する質疑応答）
海洋自然科学専攻 （化学系）	・ 面接（専門科目、英語、卒業研究、入学後の研究計画、志望動機などに関する質疑応答）

【配点】

専攻	専門科目	外国語	面接等	出身大学の成績証明書	合計
数理科学専攻	—	—	口頭試問 50	50	100
物質地球科学専攻 (物理系)	—	—	口頭試問 100	合・否	100
物質地球科学専攻 (地球環境系)	—	英語 200	面接 合・否	合・否	200
海洋自然科学専攻 (化学系)	—	—	面接 750	合・否	750

『社会人特別選抜』

【試験内容】

専攻	試験内容
数理科学専攻	・面接
物質地球科学専攻 (物理系)	
物質地球科学専攻 (地球環境系)	
海洋自然科学専攻 (化学系)	

【配点】

専攻	書類審査	面接	合計
数理科学専攻	50	50	100

※物質地球科学専攻（物理系・地球環境系）及び海洋自然科学専攻（化学系）は、試験の内容を総合的に判定し合否を決定する。

『社会人特別選抜（現職高校教員）』

【試験内容】

専攻	試験内容
数理科学専攻	・面接
物質地球科学専攻 (物理系)	
物質地球科学専攻 (地球環境系)	
海洋自然科学専攻 (化学系)	

【配点】

専攻	書類審査	面接	合計
数理科学専攻	50	50	100

※物質地球科学専攻（物理系・地球環境系）及び海洋自然科学専攻（化学系）は、試験の内容を総合的に判定し合否を決定する。

8. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）

障がい等を有する者、疾病・負傷等により受験上の配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」を郵送にて提出してください。

申請された配慮事項については、本学において検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。「検討結果通知書」の受領後は、記載事項を確認のうえ同封の書類をご返送ください。

また、上記手続きには2～3週間を要します。合理的配慮の内容によっては、対応にさらなる時間を要する場合があります。事前相談は随時受け付けておりますので、早めの相談、申請書の提出をお願いします。

受験時に限らず、入学後における修学上の配慮希望については、随時相談を受け付けておりますので、下記問い合わせ先までご相談ください。

(1) 申請期限

推薦入学特別選抜	令和7年 5月23日（金）	（消印有効）
第1期募集	令和7年 7月11日（金）	（消印有効）
第2期募集	令和8年 1月9日（金）	（消印有効）

※申請期限後の書類については、受理しませんのでご注意ください。

なお、申請期限後に不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため、受験上の配慮を希望する場合は、下記問い合わせ先までご相談ください。

(2) 申請方法

以下の書類を障がい学生支援室へ「簡易書留」又は「レターパックプラス」で郵送してください。

- ①「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」（本学指定の様式）
- ②「医師からの意見書」（本学指定の様式）
- ③その他相談する際に必要な参考資料

上記①及び②の本学指定の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ (<https://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/>) 「支援を希望される皆さまへ」よりダウンロードできます。

※必要に応じて、追加資料の提出を依頼することもあります。

※本学が必要と判断した場合は、志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

問い合わせ先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

全保連ステーション（大学会館）2階

琉球大学障がい学生支援室

電話：098-895-8750 FAX：098-895-8791

E-mail：g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

9. 合格者発表

推薦入学特別選抜	令和7年 7月25日(金) 11:00
第1期募集	令和7年 9月19日(金) 11:00
第2期募集	令和8年 3月16日(月) 11:00

理学部本館玄関前に掲示するとともに、琉球大学理学部ホームページに掲載します。また、合格者へは郵送にて通知します。不合格者への通知は行いません。

なお、電話等による問い合わせには応じません。

10. 入学手続等

(1) 入学手続期間

入学手続期間等については、令和8年3月下旬を予定しております。

入学手続きの詳細については、別途合格者に対して「入学手続案内」を送付します。

(2) 入学料及び授業料

入学料は銀行振込・インターネットバンキング・ATMです。詳細は入学手続案内で通知します。

入学料 282,000円(予定額)

授業料(前期分) 267,900円(年額535,800円)(予定額)

(注) ①上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

②授業料については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

③琉球大学には入学料の免除又は徴収猶予、あるいは授業料の全額又は半額を免除する制度があります。対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。また、所定の免除申請手続きを行うことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の徴収を猶予します。

11. 安全保障輸出管理

琉球大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「国立大学法人琉球大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制されている事項に該当する場合は、希望する教育・指導が受けられない場合や、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、外国人留学生の方はなるべく出願前に指導を受けようとする教員と連絡を取るようしてください。

12. 修学のための諸制度

(1) 長期履修制度について

職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象に、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修させて学位の取得ができるようにする制度です。申請に基づき、研究科が審査し、最長4年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することになります。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の2年間(4学期)の総額を在学学期で除した額を分割して支払うこととなります。

本制度を希望する学生は、事前に予定指導教員と長期履修の必要性、履修計画を相談し、承諾を得て入学手続期間内に申請してください。

(2) 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例について

大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例の趣旨を積極的に活用し、職業を有する社会人学生の履修上の便宜を図るため、2 年間の全期間にわたって以下の履修方法を採用します。

- ① 社会人教育に対しては、通常的时间帯のほか、特例による授業時間帯を設け、両授業時間帯において、課程修了に必要な単位（30 単位以上）を履修できます。
- ② 社会人学生は、履修計画を指導教員の指導のもとに作成します。
- ③ 社会人学生以外の一般学生で指導教員が必要と認めたものについては、上記の特例に基づいて開設される授業科目を履修し、課程修了に必要な単位に含めることができます。

(3) 奨学金制度について

日本学生支援機構（JASSO）等の各種奨学金制度を利用することができます。

詳細については以下の本学ホームページから確認することができます。

日本人向け奨学金案内

https://slsi.skr.u-ryukyu.ac.jp/gksien/?page_id=26



留学生向け奨学金案内

https://ges.skr.u-ryukyu.ac.jp/scholarships_international_students/



(4) 授業料等免除制度について

本学には、経済的理由等により、入学料・授業料の納入が著しく困難であると認められる者を対象に、学生からの申請に基づき選考のうえ、入学料を徴収猶予または免除する制度・授業料を免除する制度があります。ただし、予算に上限があるため、基準を満たしていたとしても不許可になる場合もあります。

詳細については本学ホームページから確認することができます。

<https://slsi.skr.u-ryukyu.ac.jp/gksien/>



1 3. 個人情報の取扱い

本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続き者の氏名等を入学後の学籍管理等、修学に関わる業務で利用します。
- (3) 入学手続き者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入管理に関わる業務で利用します。

- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報、入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など、修学支援に関わる業務で利用します。
- (5) 出願書類の不備等がある場合、その訂正・補完を速やかに行っていただくため、本学を受験されること及び出願書類の不備等があることを、保護者又は勤務先等に通知する場合に利用します。
- (6) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

※本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、上記及び個人情報の保護に関する法律第18条、第27条及び第28条に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

14. 追加募集

合格者が募集人員に満たない場合は、追加募集を実施する場合があります。

15. 問い合わせ先

琉球大学理学部学務係（理学部本館C217）

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

Tel 098-895-8595（直通） Fax 098-895-8587 E-mail rggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

16. 入試統計（志願者数、合格者数等）の公開

入試に関する統計を以下より公開しています。

https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/passed/#graduate_school_etc_examination



17. 過去問の開示

筆記試験に限り過去問の閲覧等が可能です。詳細については下記までお問い合わせください。

受付時間：9:00～17:00（12:00～13:00を除く）

問い合わせ先：各学科系事務室

物質地球科学専攻（物理系）	理学部本館	A206
物質地球科学専攻（地球環境系）	理学部別館	301
海洋自然科学専攻（生物系）	理学部本館	C531

琉球大学大学院理工学研究科概要

専攻	講 座	研 究 内 容
数理科学専攻	基礎数理学	整数論，代数学，幾何学，位相幾何学
	数理解析学	作用素環論，関数空間論，特殊関数論，超局所解析
	情報数理学	数理統計学，情報数学，応用代数学，確率過程論，組合せ論
物質地球科学専攻	物質基礎学	素粒子論，場の理論，宇宙論，宇宙物理学，磁性理論，固体物性論，多体問題， 強相関物理学，物性基礎論，数理物理学
	物質情報学	磁性，強相関電子系，輸送現象，核磁気共鳴，高分子物理学，X線回折， 誘電体，準結晶，計算物理学，中性子散乱，構造不規則系，表面・界面物性理論
	海洋地圏科学	海洋地質学，火成岩岩石学，固体地球物理学，サンゴ礁地質学，進化古生物学， 同位体地球化学，放射線地学，変成岩岩石学，地形学
	海洋水圏科学	気象学，海洋地球物理学，海洋物理学，海洋微古生物学
海洋自然科学専攻	分子機能化学	レーザー分光計測，有機合成化学，立体化学，分子光化学，錯体化学 分子分光学，生態相関物質化学，機能材料化学
	解析化学	分析化学，有機金属化学，水素貯蔵材料科学，触媒化学
	海洋化学	地殻内部水圏化学，環境分析化学，海洋生態化学，大気化学
	進化・生態学	陸域生態系機構学，植物系統進化学，植物生態学，島嶼生態学， 植物分類学，サンゴ礁生物生理生態学，海洋環境学，動物生態学，動物系統進化学
	熱帯生命機能学	細胞生物学，分子生理学，植物生理学，環境適応生理学，無脊椎動物形態学
	海洋生物生産学	海洋生産学，サンゴ礁生物学，水産生物学，藻類学，海洋動物行動学， 魚類学，魚介類分子集団遺伝学，比較内分泌学
熱帯生物科学	生殖生物学，サンゴ礁生態学・保全生物学，サンゴ礁病理学，分子細胞機能学， 昆虫ゲノム解析学，動物系統学，生物地理学，植物形態学， 無脊椎動物分類学，熱帯生物進化学，微生物学	

試験場案内図

